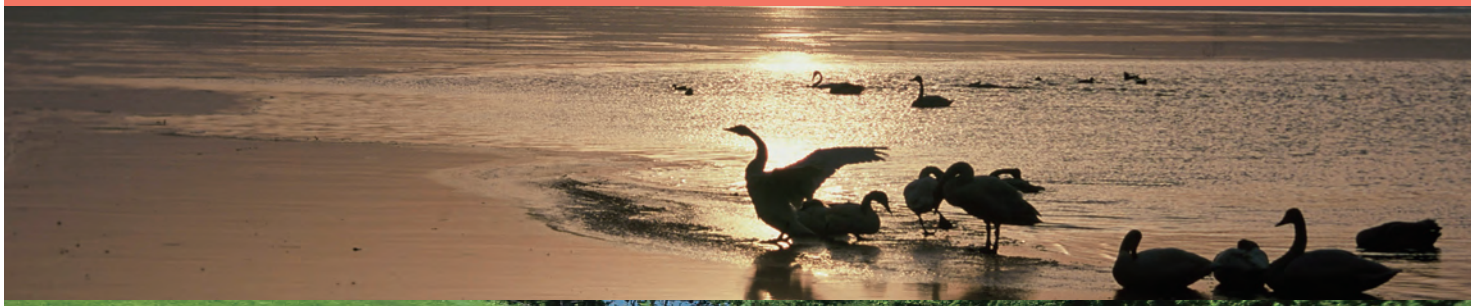
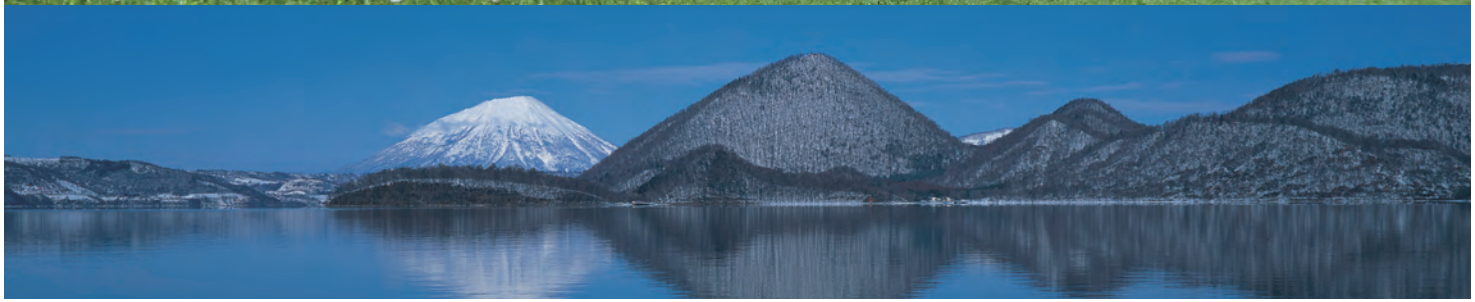
北海道新幹線 × nittan 地域戦略会議
平成28年度 事業計画案





nittan

IBURI × HIDAKA Regional Strategy Meeting

インデックス

0. イントロダクション

2016年の位置づけ・・・・・・・・・・ 01-02

1. 事業推進方針

重点戦略と目標期間・・・・・・・・・・ 03

2. 2016年度事業の立案にあたって

これまでの総括・・・・・・・・・・・・ 04

3. 2016年度事業の考え方（骨子）

北海道プレミアムステイの具現化・・・・ 05
事業全体構造 ・・・・・・・・・・・・・ 06

4. 情報戦略

誘客プロモーション・・・・・・・・・・ 07
nittanDictionary・nittanweb 更新・・ 08

5. 観光戦略

噴火湾横断周遊ルート PJ・・・・・・・・・ 09

6. 交通戦略

nittan 地域観光動態調査・・・・・・・・・ 10

7. 地域内連携促進事業

地域内連携促進事業 ・・・・・・・・・・・ 11

8. 事業推進スケジュール

事業推進スケジュール ・・・・・・・・・・ 12

9. 事業予算案

事業予算案 ・・・・・・・・・・・・・・・ 13

10. Discver nittan Project

具体的な活動方針の決定 ・・・・・・・・・ 14

2016年の位置づけ【one aspect】

北海道新幹線開業年としての

2016

3月26日に北海道新幹線が開業しました。
nittan も［ チーム HOKKAIDO ］の一員として、
新幹線で北海道を訪れる方々へ
“Welcome to HOKKAIDO!”の気持ちを伝えるとともに、
nittan へ足を運んでいただくためのプロモーション活動を展開します。

2016年の位置づけ【another aspect】

次なる15年間に向けたスタートとしての

2016

北海道新幹線開業を一つの目標に活動してきた
[北海道新幹線 × nittan 地域戦略会議]。
わたしたちにとって2016年は、次なるステップへの最初の年ともいえます。
nittan 地域の将来像をどのように描くか、
様々な主体と関わり合い、議論を深める一年とします。

重点戦略と目標期間

■重点戦略

今年度の重点戦略は昨年度に引き続き、「情報戦略」・「観光戦略」・「交通戦略」を３本柱として取組みます。また、重点戦略＋αとしての「総合的地域間連携」についても継続して取り組みを行い、nittan 地域内で活動する各種団体・組織との連携を強化していきます。

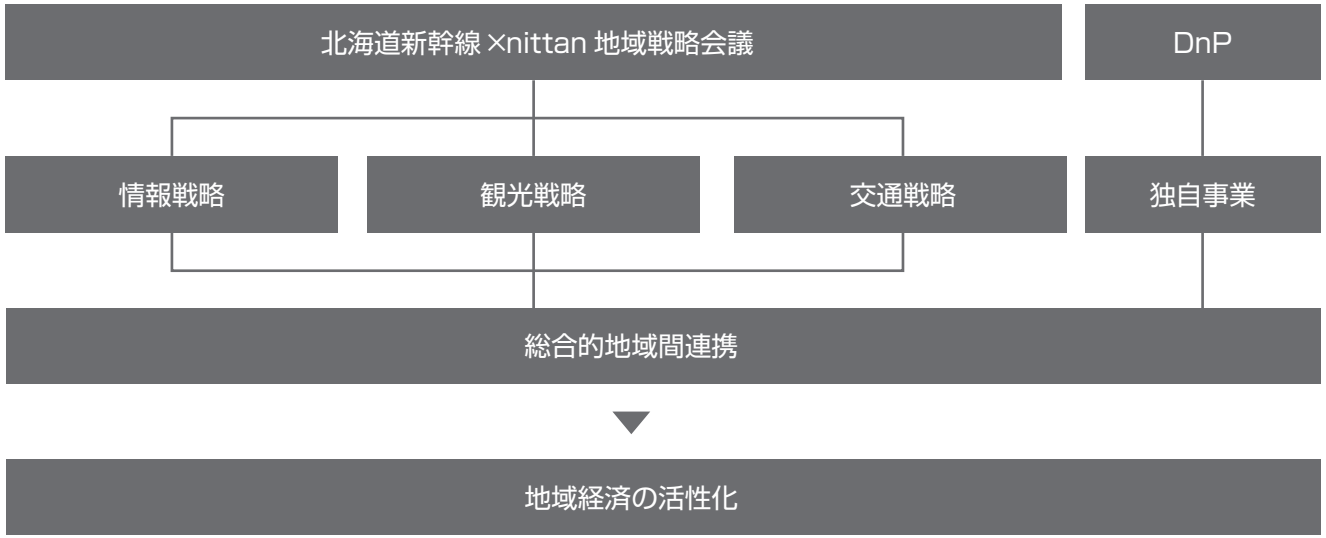
また、民間主体の組織「Discover nittan Project」についても活動方針を改めて検討し、提案のあった取組みに関しては精査したうえ、民間主導で実施していきます。

■目標期間

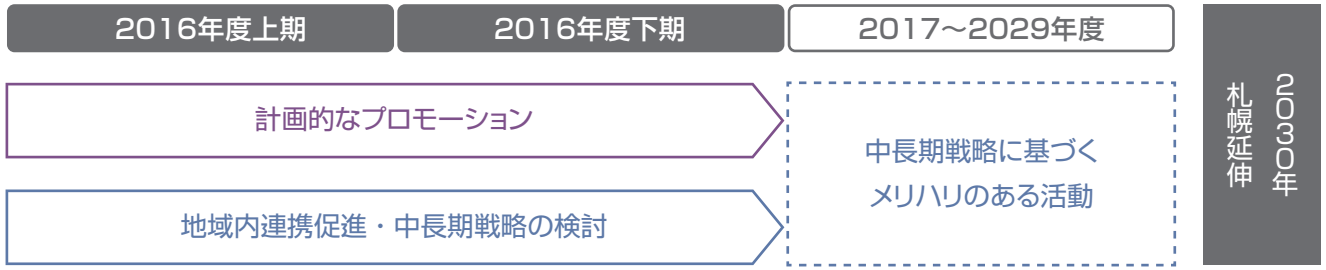
北海道新幹線開業年である 2016 年は、年間を通じた計画的かつ戦略的な誘客プロモーションを実施します。

また、北海道新幹線開業という一つの節目を迎えた今、2030 年に予定される札幌延伸にどのように向き合い活動していくのか、じっくりと戦略を練る時期にさしかかっているといえます。2016 年度は 2017 年度から 2030 年度までの nittan のビジョンを描くため、中長期戦略の検討を開始します。

■事業推進戦略図



■事業推進スケジュール

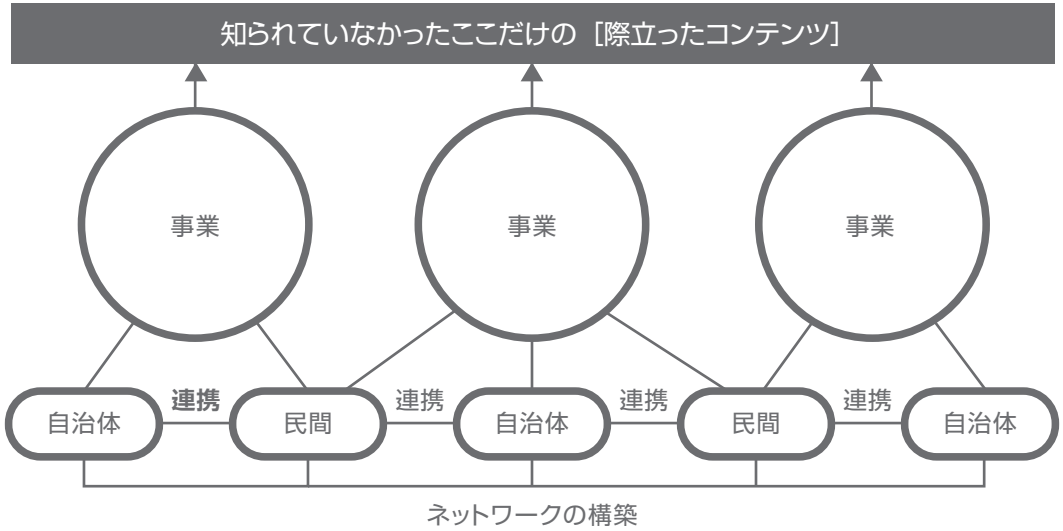


事業の立案にあたり

この2年間の活動でこれまで知られていなかったここだけのモノ・コト、際立ったもの、今後発展が見込める事業が浮かび上がってきました。（=プレミアム / 価値の発見）

これは行政同士の円滑な協力体制や、民間事業者と行政間のネットワークが構築され、連携が生まれてきたからに他なりません。互いの考えを知り、外の目に触れる機会ができ、立場は違いますが地域を元気にしたいという共通の目的を持った様々な人とディスカッションできるようになったことがこの2年間の nittan の活動の成果の1つと言えます。

「人と人のつながり」から生まれたこの成果をより具体化し、構成員が実感できるような事業を展開していきます。



■活動期間

2013.10.3 − 2016.3.26

■H26年度テーマ

Discover! nittan

■H27年度テーマ

北海道プレミアムステイ

■実施個別事業

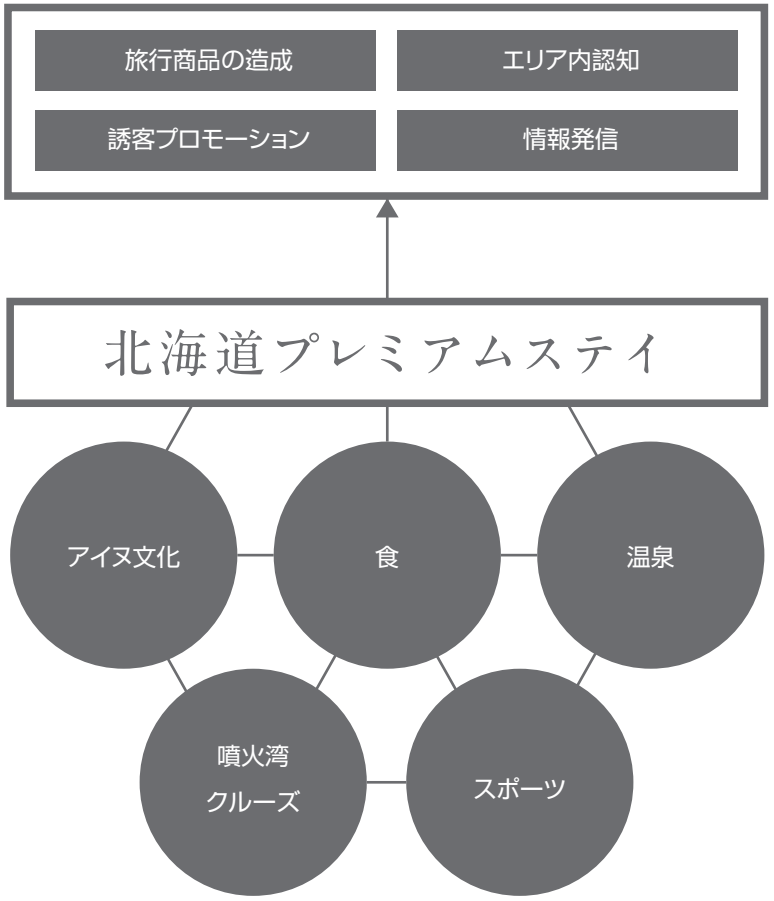
nittanDictionary	ルートガイド	モニターツアー
イベント	nittan web	旅プロデュース部
PR 動画	nittan マルシェ	DnP 設立
ランニングバイク	海外プロモーション	森蘭航路

北海道プレミアムステイの具現化

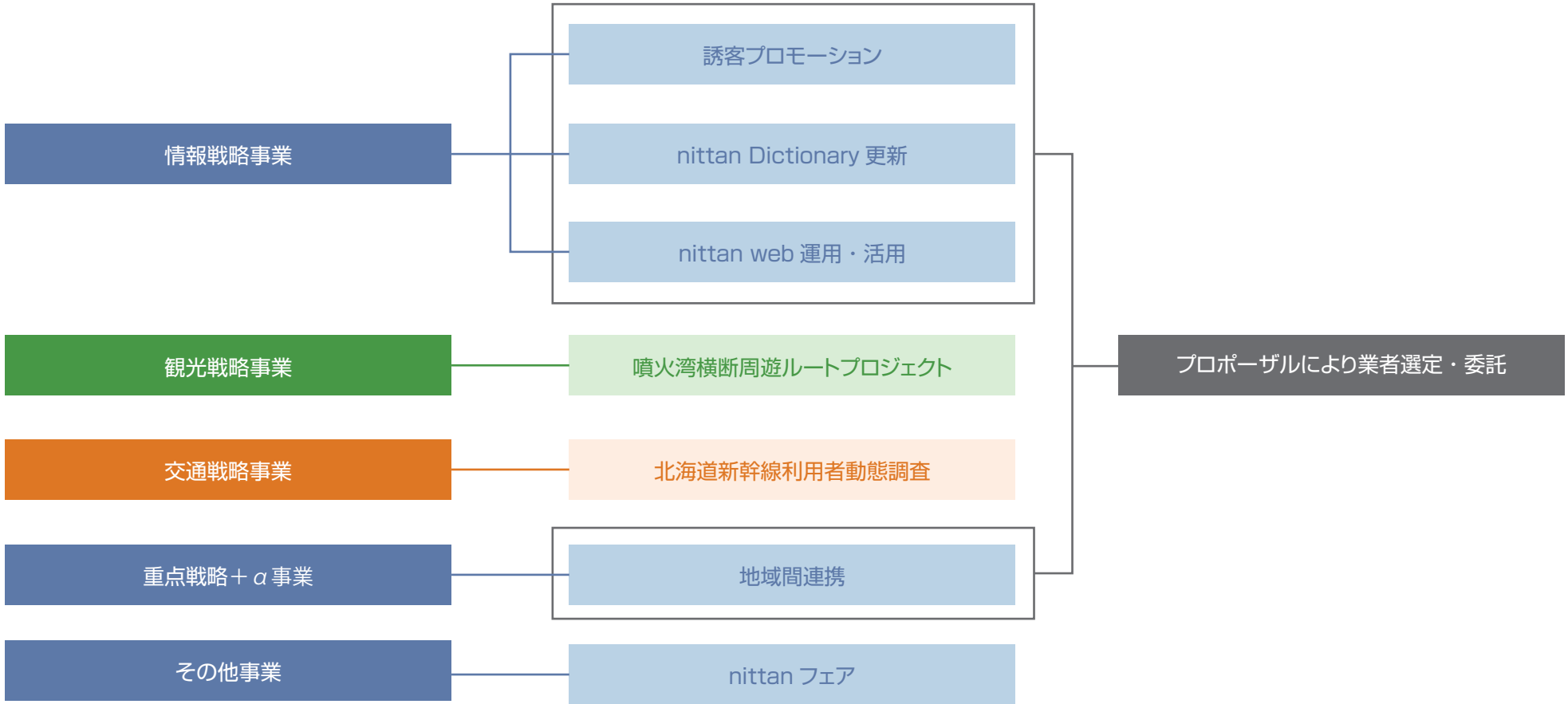
H26,27 年度の取り組みで nittan エリアにしかない［際立ったコンテンツ］が少しずつ見出されてきました。そのコンテンツを活かすためにテーマを持ってコンテンツを繋ぎ広域連携を強化することが必要です。
さらに効果的な情報発信と情報共有によって、交流人口の拡大とエリアの認知を高めることを目指します。

2016 年度の全体テーマには、昨年度に引き続き「北海道プレミアムステイ」を設定します。広大な nittan エリアのここにしかない魅力を存分に楽しんでいただくためには、ロングステイプランをより具体的に提案し、nittan エリアへの来訪につながるよう PR をしていかなければなりません。
これまでの取り組みの中で見出されたコンテンツをどのように売り出し、消費者へ届けるか。「北海道プレミアムステイ」という大テーマのもと、より具体的なテーマやジャンルでカテゴライズし、道内外へ発信します。

テーマの具現化として具体的に想定することは、
①旅行商品の造成
②テーマのエリア内認知
③テーマにのっとり統一された露出方法による誘客プロモーション
④テーマにのっとった情報発信



事業全体構造


情報戦略事業
観光戦略事業
交通戦略事業
重点戦略＋α事業
その他事業
誘客プロモーション
nittan Dictionary 更新
nittan web 運用・活用
噴火湾横断周遊ルートプロジェクト
北海道新幹線利用者動態調査
地域間連携
nittan フェア
プロポーザルにより業者選定・委託

誘客プロモーション事業

北海道新幹線開業年である
2016 年の年間プロモーション事業を展開

POINT1 既存イベントへの出展

北海道新幹線開業を盛り上げるイベントへの出展
【出展予定イベント】
①7/23,24 北海道うまいもんサミット（函館）
（7 月第 4 週は nittan ウィーク、18 ブース出店予定）
② 9/10,11 はこだてグルメサーカス（函館）

POINT2 企画提案による新たなプロモーションの実施

次のエリアで新たに開催または出展するイベント、催事、プロモーション活動（4企画以上）
① nittan 地域内1つ以上
② 北海道内 2 つ以上
③ 北海道外1つ以上

POINT3 企画・運営を一括委託により実施

既存イベントへの出展と新たなプロモーションの企画・運営を一括で委託することにより、
事業どうしの連動性を高め、一年間を通したひとつのキャンペーンとして発信する

nittanDictionary リニューアルと nittanweb の運用

H26 年度に制作した辞書スタイルのガイドブック
「nittan Dictionary」をリニューアルし
プロモーションに活用します
また、nittan 公式ウェブサイト「nittan web」の
更新及び維持管理のほか、nittan Dictionary との
連動を図り効果的な情報発信を行います

POINT1 内容の更新と新規コンテンツの追加

H26 年度に制作した nittan Dictionary 第一版の掲載情報の更新を行い、また、
新たに新規情報の追加を行う。nittan web についても、掲載情報の修正・更新を
行うとともに、新たなコンテンツの充実化を図る。

POINT2 作成後の活用方法も含め提案を受ける

nittan Dictionary の仕様や掲載情報、コンテンツの提案と併せて、
作成後の活用方法も提案を受ける。また web の利用促進・拡散にも取り組んでいく。

POINT3 nittan Dictionary と web の連動

リニューアルする nittan Dictonary の内容を web に反映さえ、
クロスメディアによる多面的な情報発信を行う。

噴火湾横断周遊ルートプロジェクト

H27 年度に実証実験を行った
「噴火湾横断クルーズ事業」をステップアップし、
一般向け商品の造成を目指します

POINT1 旅行代理店の商品化を後押し

「噴火湾横断クルーズ」の商品化を促すため、噴火湾横断をルートに取り入れた旅行商品を造成する場合、船のチャーター料を nittan が補助。

POINT2 室蘭市内の 2 社の協力により実施

室蘭市内にある2社が所有する船舶を使用予定。
時期は、イルカ・ホエールウォッチングの最適期である 6 月～ 8 月を想定。

POINT3 継続的なプロジェクトとして実施

3か年プロジェクトの初年度と位置づけ、継続的に商品造成を後押しする。
噴火湾横断クルーズを継続的に実施することで nittan エリアの知名度向上と
潜在的な商品価値・需要の掘り起こしを図る。

nittan 地域観光動態調査

3 月 26 日の北海道新幹線開業により、
新たな人の流れが生まれています。
道南へ着地した観光客がどのように観光客が
動いているか把握するための動態調査を実施し、
今後の戦略検討に向けたデータ蓄積を行います

POINT1 属性・旅行形態を調査

道南エリアに着地した観光客の属性・出発地、往路の交通手段等を調査。

POINT2 nittan エリア来訪者の属性を調査

nittan エリア内の道の駅等、観光スポットにおいて来訪者に対しアンケートを実施し、
交通手段や来訪目的、どこから来たかなどを調査。

POINT3 今後の二次交通検討の材料として活用

2030 年に予定される札幌延伸に向けた2次交通整備を検討する上での
定量的データ蓄積を行う

地域内連携促進事業

設立からの約 2 年半で培われた連携機運を
次なる 15 年間に向けて深めるための事業

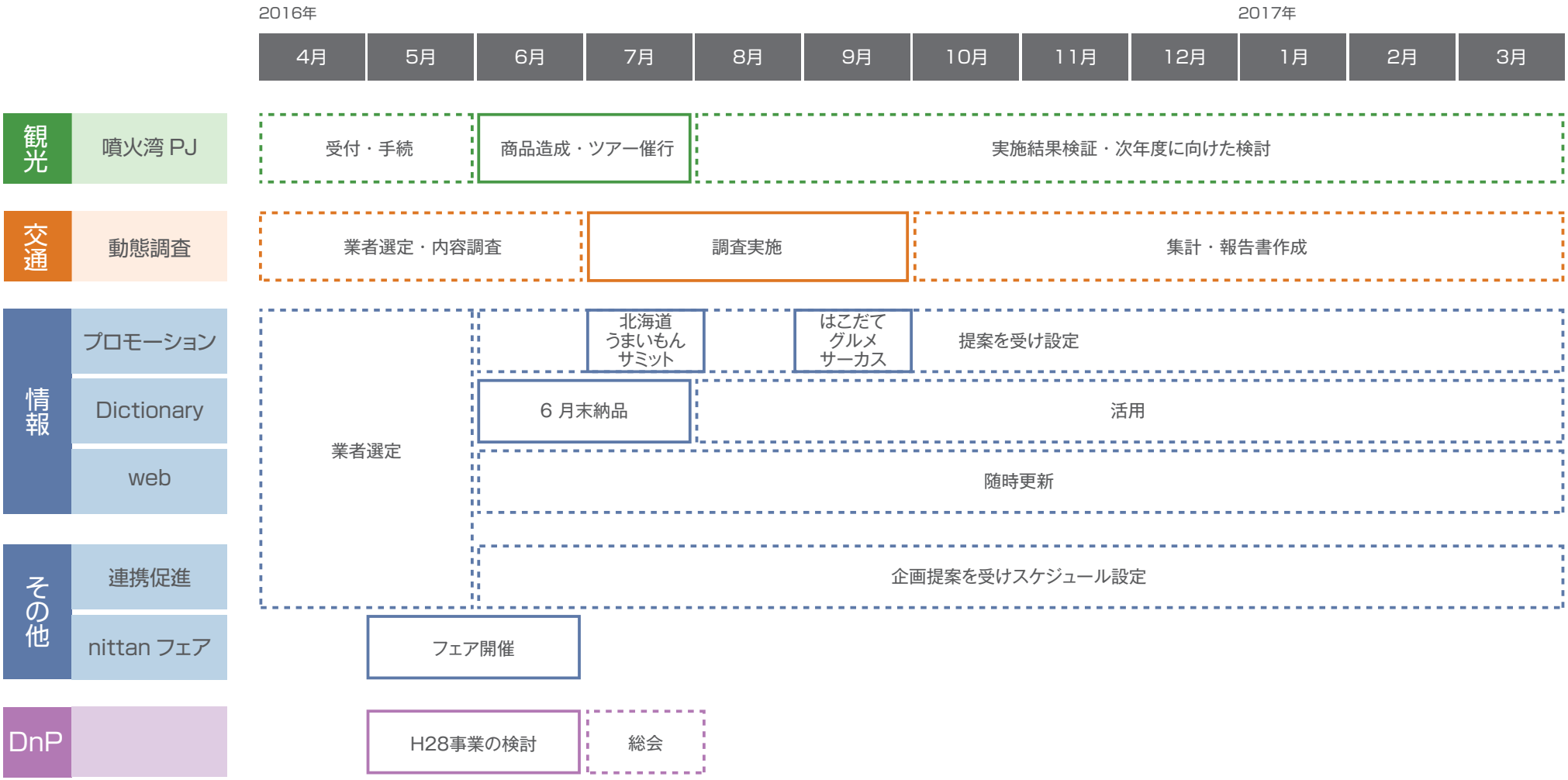
POINT1 関係主体との連携を深める事業を企画提案により実施

域内の関係団体や民間事業者、DnP をはじめとする様々な主体との
連携を深めるための事業を企画提案により実施。

【提案を受ける内容】
nittan エリアの行政・関係団体・民間事業者等の連携促進に資する事業で、
次のうち 2 つ以上に該当する事業。

①nittan 地域の特性に即して地域課題を解決する提案であること
②産学官金連携の促進に資する提案であること
③nittan エリアの地域ブランド力向上に資する提案であること
④新たな人の流れを創出し交流人口拡大に資する提案であること
⑤広域連携や地域づくりの担い手育成に資する事業であること

スケジュール


2016年
2017年
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
観光
噴火湾 PJ
受付・手続
商品造成・ツアー催行
実施結果検証・次年度に向けた検討
交通
動態調査
業者選定・内容調査
調査実施
集計・報告書作成
情報
プロモーション
Dictionary
web
業者選定
北海道うまいもんサミット
はこだてグルメサーカス
提案を受け設定
6 月末納品
活用
随時更新
企画提案を受けスケジュール設定
その他
連携促進
nittan フェア
フェア開催
DnP
H28事業の検討
総会

予算案

歳入

名称	金額 (千円)
負担金（3,500 千円×4 市）	14,000
負担金（30 千円×14 町）	420
補助金・交付金（予定）	6,500
前年度繰越金（見込）	987
合計	21,907

歳出

名称	金額 (千円)
誘客プロモーション事業	7,500
nittan Dictionary・web	4,000
噴火湾横断周遊ルート PJ	3,000
北海道新幹線利用者動態調査	1,000
地域内連携促進事業	4,500
nittan フェア	250
事務局経費	1,657
合計	21,907

具体的な活動方針の決定

設立から3年目を迎え、組織のありかたや
目指すところを今一度見直し、
具体的な活動の方針を決定します

POINT1 構成メンバーとの情報交換

構成メンバーと今後のありかたや目指すところをフレキシブルに話すことができる
会合を行います。

POINT2 具体的な活動方針の決定

構成メンバーとの情報交換や企画提案内容からみえてきた目的をもとに
具体的な活動方針を決定します。

会員からの提案例

・スポーツを活用した交流人口の拡大
・nittan エリアでのブライダルフォトウェディングの誘致
・イベントでの地域の事業者交流
・空港では買えないお土産プロジェクト
・文化振興を通じた若者の郷土愛育成

様似町のアポイ岳をテーマに過去に高校演劇で上演された作品を幅広い層が楽しめる内容に
リニューアル。地元の劇団が nittan エリア内で上演し、地元高校の演劇部をはじめとした
学生に見てもらうことで、演劇を通して地域への愛着や関心も持ってもらうきっかけ作りを行う。
また、プロの演出家による演技指導なども同時開催し、高校演劇の活性化を図る。